

## 障害福祉サービスの報酬 単価改定について

日本共産党高山市議団  
坂下美千代



**問** 来年度福祉サービスの報酬改定があるが、その背景と影響はどのようなもので市内事業所への影響はあるか。また各事業所の数は十分か。

**答** 令和8年6月に行われる報酬改定において、就労継続支援B型では、報酬区分の細分化により減額される場合がある。収益率が高く、かつ、事業所数が急増している就労継続支援B型、共同生活援助、放課後等デイサービス、児童発達支援において、令和8年6月1日以降に新たに指定を受けた事業所は一定程度引き下げた基本報酬が適用される。一方で、処遇改善加算の拡充も予定されており、職場環境の改善に努めた事業所では報酬が増額されることが期待される。市内において、これらの事業所数は充足していると考えている。

## 荘川産業廃棄物最終処分 場計画について

日本共産党高山市議団  
上嶋希代子



**問** 事業計画の阻止にむけては許可権者である岐阜県知事の姿勢が重要である。市長による反対表明を行ってから、市から県に対し、知事による計画地視察など、どのような働きかけを行っているのか。

**答** 産業廃棄物処理施設の設置許可権者である知事に、荘川町六廐の計画地を直接確認いただいたうえで可否を判断いただく必要があると捉えており、県に対し、知事に計画地を視察いただくようお願いをしている。なお令和8年2月には、庄川流域6自治体（高岡市、砺波市、南砺市、射水市、白川村、高山市）の首長が一堂に会し、荘川産業廃棄物最終処分場計画について情報共有や意見交換を行い、皆で一緒に現地を見ようということになっている。知事に対しては、今後も折を見て、現地を見ていただくよう働きかけていく。

## タイムスリップ 古墳時代・ 大和時代の前期へ

未来  
松山篤夫



**問** 「高山市文化財保存活用地域計画」において、国府町広瀬町の「こう峠口古墳」の学術調査の実施と適切な保存環境の整備が取組として提示されているが、具体的にはどのような内容とスケジュールを計画しているのか。

**答** 横穴式石室の測量調査や周辺のレーダー探査が行われ、県下でも最大級の横穴式石室を持ち、飛騨地方では数少ない前方後円墳であることが判明している。計画では令和8年度に協議会を設置し、進捗状況の確認や今後の取組を協議する予定。協議会や有識者、地域の意見を聞きながら調査の実施時期を検討する。



こう峠口古墳（石室）

## 政策の発想の転換に ついて

未来  
車戸明良



**問** 自治体が自己資金やお金を借り、公共施設などを作る時代から官民連携へ政策の発想を転換し持続可能なまちづくりの施策を推進する時代。市が企画・計画して、民間業者が資金を調達し建設、運営等を行うPFI方式。そして、市が所有権を持ったまま運営権を民間事業者に、委託・売却するコンセッション方式など検討すべきだ。また、官民連携の秘策といわれるPFSは自治体が事業の成果指標を設定し、その改善度合いに応じ委託料を支払う民間委託の契約形態であり、国も10年以内に普及したいとしている。これは、福祉・介護・病気の予防など多岐にわたり有効とされるが検討は。

**答** PFSについて、官民連携の手法の一つとして有効であると考えており、活用の可能性を探っていく。